

【至峰堂画廊 SHIHODO Gallery】

アートフェア東京 2022 に出展 - 山田啓貴・山本雄教・藤田勇哉 -

会期：3月11日（金）～3月13日（日）

至峰堂画廊（東京都中央区銀座）は、3月11日（金）～3月13日（日）に開催されるアートフェア東京2022に出展いたします。山田啓貴・山本雄教・藤田勇哉の3名の作家を迎え、“カウンターでのコミュニケーション”をテーマに作品を展覧いたします。山田啓貴8点、山本雄教6点、藤田勇哉8点の出品を予定しています。

アートシーンの隅々で交わされるコミュニケーションは、お酒の場でのコミュニケーションと似ていると思います。昨今の状況を踏まえ、お酒をテーマに、作品を楽しみ、コミュニケーションを楽しむ、という場を作りたいと思いました。気楽に、身近に、楽しんでいただければと思います。

【山田啓貴 - お酒の席で決まること -】 出品予定点数：8点



山田啓貴「ボトルの間からいつも見ている」
油彩・テンペラ 4号

私にとって、テーブルを囲んで行われる会話のやり取りは、なんだか懐かしいものになりかかっています。
記憶・思い出などを描いてきた私にとって、今の現状はまさに描き残しておきたいものであり、発想の起点でもあります。
より素敵な場——作品の提供ができればと思いますが、それもまた見る人たちが経験してきた素晴らしい記憶と重なって見えて来たら幸いです。

山田啓貴

【山本雄教 - Lager, lager, lager, lager -】 出品予定点数：6点



山本雄教
「One coin people (Drinking in Kamogawa)」
麻紙、鉛筆、一円硬貨のフロッタージュ
162.0×90.0cm

無駄を省いた合理的な思考や行動が求められる昨今。しかしそこからはみ出るような、無駄で、無意味で、感情的で、整理のつかない混沌の中にこそ、本質が見出せるような気がしています。

今回私は自分にとって最も身近なお酒であるビールと、地元京都の鴨川で外呑みに興じる人々の姿を、コインのフロッタージュで描きました。自販機に数百円を入れるだけで私たちを非日常へと誘ってくれるラガーたち。記憶も場所も曖昧な一晚の思い出。それは合理的に考えれば、時間もお金も無駄になってしまうようなものかもしれませんが、だからこそ何より価値のあるものなのではないでしょうか。

展示タイトルの「Lager, lager, lager, lager」は、映画『トレインスポッティング』のエンディング曲としても有名な、Underworldの代表曲「Born Slippy Nuxx」の歌詞の一節を引用しています。
酒だ、酒、酒、酒を持ってこい！

山本雄教

【藤田勇哉 - Chateau -】 出品予定点数：8 点



藤田勇哉「YF804」
油彩・綿布 30号

絵を本格的に勉強しはじめたころ、私はよくワインのビンを描いた。西洋美術への畏敬の念を支えてくれた、馴染みの深いモチーフである。いまの自分がワインのビンをどのように捉えることができるのか、私なりに確かめてみたいと思った。

フランスワインの代名詞である、シャトーをテーマにしたかった。実際に自分の手でワインビンに触れ、味わい、くりかえし観察し、ワインやシャトーの歴史を学んでいるうちに、私の手の中にあるワインビンが、先人が営んだ時間の塊のように見えてきた。その壮大な歴史の中で、私の存在は一粒のぶどう、一滴のワインにも満たないものであるように感じられた。

感じたことを、時間をかけて一滴ずつビンに注ぎ、中身を満たし、コルクで蓋をして閉じ込めた。私のワインを皆さんにも味わってほしい。

藤田勇哉

【アートフェア東京 2022 概要】

会期 : 2022年3月11日(金)-13日(日) ※3月10日(木)は招待制

会場 : 東京国際フォーラム ホールE / ロビーギャラリー

住所 : 東京都千代田区丸の内3-5-1

営業時間 : 11:00 ~ 19:00 (最終日は16:00まで)

料金 : 予約当日券 5,000円(税込) / 前売券 4,000円(税込)

至峰堂画廊ブース : N035 (ホールE)

< お問い合わせ先 >

至峰堂画廊 銀座店 / 広報担当 山岡

MAIL : ginza@shihoudou.co.jp TEL : 03-3572-3756 FAX : 03-3572-3757

<https://www.shihoudou.co.jp>